



14歳の決意発表（三崎中学校式典）

ふれあいいかた

生涯学習だより

大人への第一歩！



伊方地域をめぐる約27kmの記念ウォーク
元気にスタート（伊方中学校）

2月4日、町内の各中学校で少年式が開催されました。

三崎中学校は、式典終了後に記念行事として「ふるさとウォーク」を実施、伊方中学校は、翌5日に「記念ウォーク」を実施しました。瀬戸中学校は、3月12日に記念行事が実施される予定です。

3月号

平成25年3月1日発行 No.95

■発行 伊方町教育委員会

■編集 教育委員会事務局 生涯学習室

「自覚」「立志」「健康」

町内中学校で少年式

2月4日(月)、町内の各中学校で少年式が行なわれまし
た。少年式とは、昔の「元服」
に当たるもので、14歳のお祝
いとして愛媛県内の中学校で
は昭和39年から行われていま
す。14歳になると少年法の施
行対象となり、自分の行動に
責任を持たなければいけない
ので「自覚」「立志」「健康」の
3つを目標に定めています。

今年、少年式を迎える町
内の中学2年生は、伊方中学
校39名、瀬戸中学校11名、
三崎中学校29名です。式典で
は、少年式を迎えての将来の
決意や目標などが発表されま
した。

式典の後、
三崎中学校
では記念行
事「ふさふ
さウオーク」
未来への一
歩」が行
われ、二名
津公園をス



二名津公園をスタート(三崎中)



四字熟語に込め決意を発表(瀬戸中)

タート、地
域内をめ
ぐり佐田
岬灯台駐
車場まで
の約30km
のウォー
クに挑戦
伊方中学
校でも、
翌日に記
念行事「少年の日記念ウオーク」
が行われ伊方中の校区内約27km
のウォークが行われました。
保護者の方や先生達も一緒に
参加し、思い出に残る一日に
なったことでしょう。



頑張って見事ゴール(伊方中)

厄年、還暦のみなさんが集う

成人講座開催

2月3日(日)、町見体育
館及び町見公民館において
平成25年伊方町成人講座を
開催しました。この事業は、
厄年といわれる33歳の女性、
42歳の男性並びに61歳の還
暦の男女が一堂に集い、学
習や交流の場を通じて今後
の家庭や町づくりを考える
日として実施しています。

この日は、57名の皆さん
が参加し、厄払い神事や記
念撮影を行った後、健康に
ついての講座を行いました。
今回の講師は、松山東雲短期
大学の杉本詠二先生で、「介
護予防ってなあに?」という
演題で講演をしていただき
ました。その後、懇親会が
開かれ、久々の友との再会
に話もはずんでいました。
人生の大きな節目といわ
れる「厄年」を迎えられ、参
加された皆さんは、改めて
人生を振り返ると共に更な
る誓いを立てられたことで
しょう。
今後、なお一層のご健勝
とご活躍をお祈りいたしま
す。



厄払い神事と記念撮影の様子(町見体育館)



杉本先生による講演(町見公民館)



懇親会の様子



畑チームが優勝！

第42回伊方駅伝大会

2月10日(日)、教育委員会及び体育協会伊方支部の主催で、伊方駅伝大会を開催しました。

コースは、田之浦集会所横をスタート、大浜で折り返し、伊方中学校グラウンドをゴールとする18.94km。

チームは、3つの部門があり、1部は地域単位の年齢別10名で構成するチーム、2部は小学校5年生以上の愛好者チームで男子は5名、女性は7名で構成します。

晴天に恵まれた絶好の駅伝日和の中、森教育委員長のピストルの合図で一斉にスタート、沿道の声援を受けながら一本のタスキに思いを込めて

繋いでいきました。

1部は、畑チームが常勝湊浦チームを抑え見事優勝、2部男子では伊方サービスチームAが連続優勝、2部女子では、先輩たちを抑え伊方小ミニバスAが優勝しました。



1部優勝 畑チーム



2部女子優勝 伊方小ミニバスA



2部男子優勝 伊方サービスチームA

総合成績表

部	順位	チーム名	記録
1部	優勝	畑	1:08:36
	2位	湊浦	1:09:13
	3位	大浜	1:11:16
2部男子	優勝	伊方サービスチームA	1:09:30
	2位	伊方中野球部	1:11:10
	3位	伊方中バスケ部A	1:12:02
2部女子	優勝	伊方小ミニバスA	1:20:45
	2位	伊方中バスケ部A	1:21:08
	3位	伊方中バレー部A	1:21:41



女性によるパワフルな活動を！

女性をつどい開催

1月20日(日)、地域の女性指導者約58名が一堂に会し、平成24年度伊方町女性のつどいが開催されました。

この事業は、「健康で明るく心豊かな住みよい町づくりのために、女性によるパワフルな活動を展開しよう」というテーマのもと、伊方町婦人会(渡辺紀代会長)と町教育委員会が共催し、毎年実施している事業です。

今年度は、大塚製薬(株)徳島支店 吉川均先生を講師に招き、「大豆のススメ」と題して

健康セミナーを行いました。毎日の健康や、生活習慣病予防のため、どのような事につけながら食生活を送っていくか等、わかりやすくお話ししていただきました。

セミナー終了後は、伊方スポーツセンターの健康運動指導士 高月良美先生を講師に迎えて「健康講座」を行い、参加した皆さんは気持ちの良い汗を流されました。運営された役員の皆さん、お疲れさまでした。



吉川先生による健康セミナー



高月先生による健康講座 ストレッチの様子

二見公民館まつり開催 (第29回 二見地区ふるさとまつり)

町見公民館



今年で29回目を迎える二見公民館まつりが1月27日(日)、二見小学校体育館を主会場に開催されました。

当日は、早朝より八幡浜漁協町見支所女性部による新鮮なイワシ等の「海の幸即売」と、亀ヶ池生活研究協議会の「ふるさとの味即売」があり、大変好評でした。

作品展示コーナーでは、保育所園児と保護者の作品、小・中学生の書道や絵画、各団体の手芸、生け花、短歌、俳句、絵手紙等の作品が体育館半分のスペースいっぱいに表示されました。



午後からの「芸能発表のつどい」では13のプログラムで舞踊・歌謡が披露されました。出演されたみなさんは日ごろの練習の成果を存分に発揮され、会場いっばいに拍手が広まりました。

最後はもちまきで、和やかな雰囲気になりました。つどいはお開きとなりました。

出展、即売、出演および協力してくださいましたみなさん、ありがとうございました。

雪山スキー教室

瀬戸公民館



2月2日(土)、瀬戸地域の小学5・6年生17名の参加のもと、小田スキー場にて、雪山スキー教室を開催しました。

前日の雨の影響なのか、スキー場に到着するまで雪の気配がなく、昨年とは違った風景を見ることが出来ました。

到着後、流行る気持ちを抑え、教室を開始。子ども達は、初心者と経験者の2班に分れて、それぞれインストラクターの方の指導のもと、別々のメニューで教室を進めていきました。

午前中、初心者組はグレンデの下の平らに近い場所での基礎をしっかり教わり、経験者組は少し上で練習をした後、リフトに乗ってグレンデを滑っていきましました。初心者組もインストラクターの丁寧な指導もあって午前中の最後の方に



は、少しずつ滑れるようになっていきました。

昼食を挟んで、午後からは、初心者組も意願のリフトに乗って、経験者組と同様、どんどんグレンデを滑っていきましました。子ども達のスキーの上達具合には目を見張るばかりでした。

普段、中々体験することの出来ない冬山でのスキーとあって、子どもたちの表情も自然と笑顔になっていました。

この教室をとおして、子ども達は十分にスキーを満喫したと思います。



早春の三崎を駆け抜ける
～ 第45回 三崎駅伝大会 ～

三崎公民館

新春の1月20日(日)、「第45回三崎駅伝大会」が佐田岬小学校前から三崎総合体育館前までの15.6kmを5区間5部門と7区間1部門で開催されました。今年の大会には町外から参加の4チームを含む38チーム計224人が参加し健脚を競いあいました。この日の天候は曇り空でしたが気温は比較的暖かく、参加した選手はスターターの号砲を合図に元氣よくスタート。沿道に訪れた多くの人のあたたかい声援のおかげもあって、最後まで心を1つにして走りぬぎ、懸命にタスキをリレーしていました。

優勝チーム

部 門	チーム名	記 録
中学男子の部	男子バレー部A	57分18秒
中学女子の部	三崎中テニスA	1時間12分53秒
高校男子の部	三崎高校軟式野球部	57分09秒
女 子 の 部	三崎高校テニス部	1時間07分57秒
一 般 の 部	銀河鉄道999	59分09秒
ビギナーの部	しらなみランナーズ	1時間01分40秒

区間新記録

部 門	区間	氏 名	記 録
中学男子	5区	玉里将平(男子バレー部A)	13分14秒
ビギナー	6区	浅野長武(Team Spirit)	6分13秒
ビギナー	6区	水沼 仁(三崎つわぶき荘)	6分16秒
ビギナー	7区	中川祐二(三崎教員クラブ)	8分25秒



元氣いっぱいスタートする1区の選手

環 境 教 室

中央公民館



1月28日(月)に平成24年度環境教室を開催しました。子どもたちに見学や体験を通して環境問題について考えてもらおうと、毎年学芸会の振替休日を利用して実施しています。今年度は原子力広報センターのご協力のもと、四国電力(株)原子力保安研修所及び松山太陽光発電所へ見学に行きました。



まず、原子力保安研修所の見学です。さすが原子力発電所の立地町だけあって多くの子どもたちが1度は来たことがあるということでした。実物と同等の訓練設備や、発電所と同じ中央制御盤を使っている訓練風景を見ることができ貴重な体験になったと思います。

次に松山太陽光発電所に行きました。パネル枚数9024枚、年間発電電力量約220万KWHのメガソーラー発電所で、一面に広がる太陽電池パネルは圧巻でした。ビデオを見た後、実際に太陽電池モジュールを使っている説明がありました。CO2排出量の少なさなどの利点がある一方、子どもたちが手をかざして影を作ると発電量が一気に低下してしまうなど課題が多いことも実体験を通して学べたと思います。

子どもたちにとっては少し難しい話もあったかもしれませんが、今回の見学を通して改めて環境問題について考えるきっかけになれば幸いです。



地域が一つとなってバレーボール競技を盛り上げよう！ ジュニアスポーツスクール(バレーボール)開催 ～愛媛県体育協会主催～

2月2日(土)、伊方スポーツセンターにおいて、愛媛県体育協会主催のバレーボール教室が開催されました。

講師は、県体育協会スポーツ指導員の都築有美子さんを含むCLUB EHIME(愛媛県成年女子クラブチーム)の選手4名で、参加した町内の小中学生31名がバレーボールの基礎を学びました。

平成29年に愛媛国体が開催されるにあたり、本町では伊方スポーツセンターがバレーボール(成年女子)の会場として内定をしています。



※講師の都築有美子さんは、元トヨタ車体クインシーズ(V・プレミアリーグ女子チーム)主将で、現在は県体育協会のスポーツ指導員及びCLUB EHIMEの選手兼コーチとして活躍しています。



見遊館より

映画上映会のご案内

3月9日(土)3階見遊館にて映画上映会を行います。

室内が狭く、人数に限りがありますので早めにお越し下さい。

場 所	見遊館内 集会室
作 品 名	ピカチュウのわんぱくアイランド
上映時間	1回目 10:00～10:45 2回目 15:00～15:45



ストローロケットを作っちゃおう！

3月16日(土)午後2時から、ストローロケットを作っちゃおう！参加される方は当日時間までに、3階見遊館にお越し下さい。

参加費：無料

【お問い合わせ】 伊方町生涯学習センター内 見遊館
38-0211(内線856)



伊方スポーツセンターをより

受講生募集中！！

Jrスイミングスクール

内 容) プールで楽しみながら、泳法の習得と体力の向上を目指します。

また団体行動における礼儀作法や協調性を学び、社会性を育みます。

日 時)	毎週水曜	初級のみ	16:30～17:20 (クロール25m練習)
	毎週木曜	初級	16:30～17:20
		中級・上級	17:30～18:20

料 金) 3200円

場 所) 室内温水プール

その他) 施設の無料使用等、特典あり。



トレーニング教室

内 容) 個人プログラムを作成し、個人の目的に合わせたサーキットトレーニングを実施いたします。マシントレーニングだけでなくバランストレーニング、ミット打ちなど行い、シェイプアップ、アンチエイジングに効果的です。

日 時) 水曜 19:00～20:20

料 金) 2000円

場 所) 3階トレーニング室

準備物) 運動の出来る服装、上履き

その他) 施設の無料使用等、特典あり。



くわしいお問い合わせは下記へご連絡ください。

伊方スポーツセンター 38-1100 38-0776



学校通信



一人一人のよさが輝く学校を目指して

三机小学校

三机小学校の良さは、地域と協力し、地域と共に「あかるく つよく やさしい 児童を育てる」ことです。そのおかげで児童は、自分の思いを堂々と大きな声で伝え、自分の感情をのびのびと歌で表現し、元気いっぱい外で遊びます。

先日、恒例の「学芸会」が行われ、児童も保護者も教職員もそれぞれの良さを十分発揮することが出来ました。まず初めに、校長先生の開会挨拶、そして来入児の素敵なダンス、「年下の男の子」で会場は和んだ雰囲気になりました。

1・2年生の劇は、「金のがちよう」笑ったことのないお姫様が、心優しいハンスの屈託のない行動から、金のがちようにみんながくつついてしまい、それを見た姫が、ついに声を上げて笑うという愉快な劇を、10名で力いっぱい演技することが出来ました。

3・4年生は、日本の昔ばなしにある「りゅうと沼」の話に取材して構成された劇でした。病気の母親を救うため、掟を破って沼の



水を盗もうとする「情の世界」に涙が誘われました。しかし、道理としての「理の世界」を理解し共存の理論に目覚めていく動物「くま子とくま子」を見事に表現しました。カップの楽しいダンスにも、大きな拍手が送られました。



5・6年は、「花は咲く」命を見つめて」東日本大震災から学んだ多くのことを、子どもの目線から考え訴えました。人間の心の奥底にあるものを丁寧に表現し、「命を守る」術と、命の大切さを演じきり、会場からはすすり泣く声が続いていました。

この学芸会を通して、クラスで一つのことを作り上げた成就感と共に少ない人数で助け合って成し遂げたことで、新たな成長が見られました。

三机小は今日も「いのちはひとつ」の合い言葉のもと家庭・地域から愛され、信頼される学校を築いています。



東南海地震想定避難訓練

伊方中学校

平成24年12月7日、東南海地震・大津波を想定した避難訓練を実施しました。多くの引取者が引き渡しカードを手に参加できました。東南海地震は近いうちに必ず起こると言われています。今回は、大津波から避難し、引取者の方に生徒を渡すところまでの訓練でした。具体的には、玄関前に一次避難したのち、岬観光駐車場へ行き、そこで、生徒を引取者に渡すというものです。小さな地震であれば、一時的な避難で、普段の生活が変わることはありません。しかし、大地震となると、連絡網や交通網が遮断されることが予想されます。そういう条件の中での避難となると、これまでの常識が通じません。「逃げろ」の放送ができないときはどうするか。保護者に連絡がつかない場合、生徒を迎えに来てもらうにはいつ、どこに来てもらえばいいか。迎えに来られない場合の生徒の居場所はどこにすればいいか等、課題が山積です。今回は、その中でも生徒の引き渡しに注目して練習をしました。人工呼吸や消火訓練と同じで、直面したときにパニックにならないように、具体的な手続



きの不備を確認することが目的でした。単純なようでも、非常事態を想定すると、いろいろな問題が見えてきました。第2分署の方も参加していただき、大変参考になる避難訓練だったと絶賛していただきました。大地震・津波対応の避難訓練としては、まだ課題が残るところですが、第一歩を踏み出したという点では、大変意義がある避難訓練となりました。それぞれの家庭でも、大地震や津波を想定した行動計画を子どもたちと話しあっておくことを、是非お願いします。





図書館だより



3月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	⑨
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	②3
24	25	26	27	28	29	30
31						

○…おはなし会

■…休館日

利用案内

■開館日時／火曜日～日曜日 午前9時30分～午後6時

■休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日も)

祝日、月末図書整理日、年末年始、蔵書点検日

■瀬戸・三崎地域の方へ

瀬戸町民センター・三崎公民館で図書と雑誌の返却ができます。

伊方町立図書館(伊方町生涯学習センター2階)

愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1992番地

TEL(0894)38-0607

新着図書

《一般書》

『輝天炎上』 海道 尊／著

《内容紹介》

東城大学医学生・天馬大吉は課題で「日本の死因究明制度」を調査することに。取材を重ねるうち、制度の矛盾に気づき始め…。「螺鈿迷宮」の続編。



- 『奥の奥の森の奥に、いる。』 山田 悠介／著
『こちら弁天通りラッキーロード商店街』 五十嵐 貴久／著
『穢れた手』 堂場 瞬一／著
『リカーシブル』 米澤 穂信／著
『ちょうちんそで』 江國 香織／著
『冬芽の人』 大沢 在昌／著
『いちばん長い夜に』 乃南 アサ／著
『望郷』 湊 かなえ／著
『切に生きる』 瀬戸内 寂聴／著
『六人目の少女』 ドナート・カッリージ／著
『世界から猫が消えたなら』 川村 元気／著
『タイタニック百年目の真実』 チャールズ・ペレグリーノ／著
『散歩』 小林 聡美／著

ほか

《児童書》



『どどのろう』 穂高 順也／作、
こばやし ゆかこ／絵

《内容紹介》

昔々、願い事を3つだけ叶えてくれるという「どどのろう」という名の泥の人形があった。人形を拾った2人は、人々からお金を奪うために、人形にお願いをして恐ろしい面の化け物にしてみようが…。

- 『おれはワニだぜ』 渡辺 有一／文・絵
『おひなさまのいえ』 ねぎし れいこ／作、吉田 朋子／絵
『こんなことがあったワ』 丸山 誠司／作
『ゆびたこ』 くせ さなえ／作
『びんぼうがみじゃ』 苅田 澄子／作、西村 繁男／絵
『ねこのたからさがし』 さえぐさ ひろこ／作
『あいうえおのせきがえ』 宮下 すずか／作
『のろいのスイーツやかた』 やまもと しょうそう／作・絵
『ハッピー・パースデー・パバ』 柏葉 幸子／作
『いのちのおはなし』 日野原 重明／文、村上 康成／絵
『チームあした』 吉野 万理子／作
『はだしのゲンわたしの遺書』 中沢 啓治／著
『中学生の君におくる哲学』 斎藤 慶典／著

ほか

新しく購入した本は、図書館ホームページからご覧いただけます。URL: <http://library.town.ikata.ehime.jp>

第148回 芥川賞・直木賞が決定しました。

- ・芥川賞 『abさんご』 黒田 夏子／著
・直木賞 『等伯』(上・下巻) 安部 龍太郎／著
『何者』 朝井 リョウ／著

図書館からのおねがい

図書館の本を誤って破ってしまった場合は、専用の道具を使って修理しますので、自分で修理をせずに図書館へそのままお持ちください。家庭用のテープなどで補修すると、修理が困難になります。

ピップスおはなし会のご案内

～3月のおはなし会～

日 時：9日(土)・23日(土) 午後1時30分～

場 所：図書館 おはなしコーナー

対象者：未就学児童および親子、小学生



絵本や紙芝居などたのしいおはなしを聞かせてくれるよ。みんな、きてね!

町見郷土館から

海でつながる畑

—佐田岬半島の地形と農業—

大好評につき出張パネル展開催！ お見逃しなく♪

(会場)

三崎総合支所1階ロビー

(会期)

3月7日～4月末日



佐田岬半島の自然 スライド上映会

3月27日(水) 19時～

今月のテーマ

「早春に謳う低茎植物群」

※入場無料・お気軽にお越しください。

◆ 今月のきょうどかん ◆

2013年3月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

■＝おやすみ □＝夜スライド上映

TEL・FAX 39-0241
(不在の場合) 38-2661 生涯学習室
開館時間 9:30～16:30
休館 月曜日ほか

佐田岬民俗ノート

94

春の二名津

二名津は三机と並び、佐田岬半島の瀬戸内海側にある港町として賑わいました。その歴史も育まれた文化も独特のものがありますが、2月は昔からの伝承行事が目白押しです。

2月8日、慈照院で春祈禱が行われました。地元のみなさん約20人が集まり、事前に有志の方が作った大きな藁草履と柱形のトーバ、地区の境界5ヶ所に立てるおれを挟んだ竹を前に、



和尚さんが大般若經の大きな経本をパラパラめくって祈禱します。終わると草履とトーバを決まった場所へ置きます。魔除けの意味の大草履ですが、昔からひとつだけで、「山の神さんは一本足だから」という伝承もあったそうです。

3日後の2月11日は春祭り。神輿をはじめ雌雄の鯛を掲げたカケノイオ等が地区内を巡行し、町の辻々で止まって地元の皆さんの参拝を受けます。要所で踊られる「伊勢踊り」は、太夫役の唱え言が終わるとオドリコが嬉しき舞は見いさいなと言いき、あとは全員で朗々と歌を歌います。

神仏問わず古いも若きも伝承行事をしつかり行う姿はこの地域の勢いを感じさせます。これからも次の世代に受け継がれてほしい二名津の春の賑わいでした。

上段…春祈禱
下段…春祭り
(2013年撮影)



あいじゅ訪問から学んだこと

瀬戸中学校 三年 濱本 愛香

私には、一緒に暮らしている

じいちゃんとはあちゃんがいます。じいちゃんは八十才にもなっているけど車の運転ができるほど元気です。ばあちゃんは体がそんなに丈夫ではないけど、毎日山に行っています。山に行かなくてもいいと言っているのに、みかん山へ必ず行きます。そんな元

気なばあちゃんが、ある日から物忘れがしょっちゅう起こるようになりました。私が洗濯機のボタンの押し方を教えたことがあります。しかし、ばあちゃんは覚えていません。その後、私に何回も聞くようになりまし

た。最初は優しく丁寧に教えていました。でも、何回も聞いてくるばあちゃんに、
「前も言ったよ。」とか、
「覚えてないの。」と、強い口調で言っていました。言っ

ています。

病院の先生によると、昔のことはよく覚えていますが、新しいことは覚えることができないのだそうです。母は、
「ばあちゃんに優しくしてあげよう。」と、言いました。私も心からそう思いました。私にできることは、優しく接してあげることはないかと改めて思いました。

そんなある日、学校であいじゅ訪問に行くことになりました。最初は生徒会の三人だけでした。三年生に声をかけてみるとたくさんの方が参加してくれました。そこで、放課後どんな事をするのか話し合いました。話し合った結果、歌とリコーダー演奏をすることに決めました。それから練習を行いました。だけど、

まじめにやらず、困った時がありました。そんな時先生が、
「あなたたちのがんばっている姿をお年寄りの方に見せてあげようや。あなたたちのこと楽しみに待っていてくれるよ。」と、すごく気持ち良かった声で言ってくれました。それから、みんなが一つになったと思います。

そして本番がやって来ました。初めての訪問で緊張しました。手拍子しながら歌を一

緒に歌ってくれる方や、涙を流して聞いてくださっている方がいました。すごく嬉しかったです。私たちはそんなに練習できなかったけど、みなさんに喜んでいただけて胸がいっぱいになりました。私たちに

はこのような小さな事しかできないけど、喜んでいただけると、また、ぜひ行きたいなと思いました。最後に十分間くらいお年寄りの方とお話をしました。私が出会ったお

じいちゃんからは、昔のことや戦争のことなどを聞かせていただきました。また、家族がいなかったのでこの施設に入っ

たと言っていました。私は、そんなおじいちゃんに少しでも元気を分けてあげられたらいいなと思いました。また、おばあちゃんにも話を聞かせて

いただきました。私の知っているおばあちゃんでした。だから、とても親しみやすく話しやすいです。おばあ

ちゃんは私のばあちゃんやじいちゃんのことを心配してくれるほどしっかりされてました。また、笑顔がとてもすて

きでした。すぐに時間が来てしまい、お別れの時がくると、「もう帰るの。」と、寂しそうに手を取って握ってくれました。

相 談

平成24年度 人権メッセージから

伊方小学校 五年 政木 歩美

みなさんには「なやみ」がありませんか。

私は、だれでも「なやみ」を持

っていると思います。けれど、自分の心の中で「なやみ」をためこんでおくのはいいくないと思います。親や友達、先生など、だれにでもいいので

のことを考えずに、思ったことを口に出していました。でも、あいじゅの方々のお話を

聞き、優しさというものを強く感じました。あいじゅにいる方々は、入りたくて入ったわけではありません。きちんと理由があつて入っています。いろいろな方とお話をさせて

いただきましたが、ほとんどの方が楽しくないと言っていました。入りたくなくても入らないといけないなんてつらいです。だからこそ私たちにできることがあると思います。この活動は、私にとって初めの

一歩だと思っています。これからも続けていきたいです。そして、お年寄りの人たちに生きる希望を与えられるような人になりたいです。おばあちゃんもおじいちゃんも大好きです。

相談することをおすすめします。きつと今までよりすっきりすると思います。相談することで気持ちがかわることもあります。一人でなやまず、だれかに相談しましょう。

文芸

俳句

伊方俳句の会

四方拝吾が醸せし日本酒

上田 益男

満身に春の日浴びて母乳のむ

木戸 悦子

茹で上り真青となり寒若布

二宮 寿賀子

羽織られてうたたね覚める春

炬燵

久方の陽の燦燦と初音かな

渡辺日出子

木つつきの穴を時雨が覗き過ぐ
門田 千枝

梅香る佐田岬半島沿いに月灯り
石井 義夫

媼逝く暁む丹前しづ解かず
山崎 美喜

床飾り芽吹く柳に餅の花
宇都宮睦子

浅き春夜明けの船出波飛沫
上田サチエ

断捨離のすっきり我が家に春の風
上田 幸香

同郷の友の便りや梅見頃
井上 良枝

豆撒く声高らかに鬼を追う
篠川 勝子

初詣で無病息災祈願して
宇都宮法子

一つ家に玄関二つ注連飾る
田中 初子

吾が狭庭梅一輪やメジロ来る
上田 文男

初詣しまなみ海道七福神
足利 敦子

瀬戸句会

ありがたや北の国から初荷着く
吉見 福子

注連かざるもやい綱なく舟だまり
佐々木忠雄

初詣こぼれ日光る木ノ根道
佐々木サチ子

寒念仏申し始めや大草履
浅井みどり

初日の出つくづくと見る野山かな
岡本 登

成人の日お節料理も片づけて
岡本あつ子

初場所や力士の気合い満々と
福岡 博

脱衣所冷えるよ温い息子の大工
井上 幸子

独り居の黄昏どきの秋思かな
佐々木 煦

車椅子の教え子見舞ふ秋の午後
佐々木 禮子

初日の出体罰いじめなきように
北 英二

北斗の会

おでん提げ冷めないうちに母を訪ふ
井上奈津子

人生の一句のほしき吉方道
佐々木順子

ひい孫の写メール届く冬日和
藤村富士子

通し矢に口引きしめる新成人
伊藤植美

あみだ句会

岬に生く九十坂にも年新た
西上ミツヨ

風風ぎて鳶舞う岬小正月
阿部ヨシ子

冬一日静かに暮るる海の里
中村千代香

十三里岬の集に春の月
松本光子

初曾孫誕生近し初茜
宮部タミエ

おだやかに元旦の朝潮も満つ
高月 仁

正月の古きしきたり楽しんで
玉里 宏子

川上へ頭揃へる冬の鯉
木原 敬明

初春や朝日を受けて海人浮けり
池井 為吉

